

議会だより

2018年1月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



児童・生徒の通学時の安全を祈って立哨(国道220号、269号交差点)



大隅縦貫道整備促進決起大会(南大隅町)

皆様には、ご家族と一緒に希望に満ちた、輝かしい新春をお迎えることとお慶びを申し上げますと共に、私の議会・議員活動に温かいご指導とご協力を賜りましたことに対しても感謝申し上げます。

また、衆議院議員選挙において当選されました「森山裕代議員」に対して心からお祝い申し上げますと共に、今後も健康に留意され「大隅・熊毛・霧島地域」の発展のために尚一層のご活躍をお願い申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、全国和牛能力共進会において鹿児島県の「総合優勝」に大きく貢献した農業生産者、かのやばら大使「C&K」の15,000人野外ライブ、花里・根木原地区及び飯隈・南地区での「ドライブサロン」の開始(計6地区)、民生委員制度100周年記念鹿屋大会など、多くのイベントや市勢発展に向けた「かのや農業・農村戦略ビジョン」「鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「行財政改革」「情報インフラ整備事業」「総合雨水排水対策事業」などの諸施策が推進されています。

一方、議会においては「開かれた議会」を目指し、定例議会、委員会活動など報告する議会報告会(4会場)が開催されました。出された意見、要望などについてはホームページで報告するとともに今後の議会活動に活かして参ります。

なお、私が皆様と長年にわたり取り組んでいます都市計画道路「寿大通り線」の整備促進に関して、昨年12月15日に都市計画変更の説明会が開催されましたことから一歩前進したのではないかと同時に、地権者・整備促進協議会との連携を密にして、一日も早い完成に尽力して参ります。

さて、12月定例議会は、11月24日から12月14日まで開催され、「鹿屋市農業委員会の委員」及び「農地利用最適化推進委員」の定数に関する条例の制定や一般会計補正予算(71,267千円)など議案26件、報告1件、意見書1件、陳情1件、決算8件(閉会中審査)、議員提出議案1件を慎重に審査しました。

そして、19名の同僚議員が市民の負託に応える立場から総務・財政、防災、保健福祉、農林水産、教育行政など質問を行い当局の見解を求めました。

私も、「スポーツ吹き矢の普及促進」「障害者の雇用促進及び就労支援」「省エネルギー対策」について質問しました。

また、最終本会議に「議員定数(2名削減の26名)の条例改正が提出されましたが賛成8名、反対17名、で否決となりました。

議員定数について私は、定数削減に反対ではなく、昨年1月の議会運営委員会において特別委員会を設置し、議員間で討議を重ねパブリックコメントなどにより多様な意見を聞いたうえで、定数を見直した方が望ましいと主張しておりましたので、唐突の提出では「説明責任」や「手続き」、「周知期間」などから禍根を残すことになりかねないとして反対しました。

最後に、今年も健康に留意し、皆様との情報共有を図り、「信頼と行動」により「安全・安心なまちづくり」などに全力を傾注して参ります。

従前に増してのご指導・ご協力をお願い申し上げますと共に、皆々様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。



平成29年12月議会質問並びに所感

1. スポーツ吹き矢の普及促進について

- ① 本市におけるスポーツ吹き矢の現状及び課題、並びに市民の健康増進を含めた普及促進について方策を示されたい。
- ② また、市民の健康づくり事業の一環として、スポーツ吹き矢をメニューに加えることはできないか。

(当局回答要旨)

- * スポーツ吹き矢は、円形の的をめがけて息を使って矢を放つ、新しいスポーツであり、肺機能の活性化や腹式呼吸による体調改善、緊張緩和などに効果がある。
また、年齢や性別、体力差を問わず気軽に取り組めるスポーツで、約130名の方々が学習センター・第二武道館を利用して活動している。
- * スポーツ吹き矢の普及は、スポーツフェスタやふれあい福祉まつり、など関係団体の協力のもと、ブースを設け体験を兼ねた普及に努めている。
- * 競技の認知度が低いことから「燃ゆる感動、かごしま国体」のデモンストラレーション競技として開催されることを機に競技の普及と組織化、市体育協会への加入を進める。
- * 「市民健康づくり教室」の運動メニューの一つとして取り組みで調整する。



吹き矢スナップ



所 感

スポーツ吹き矢の素晴らしさは、性別、年齢を問わず誰でも手軽にでき、ゲーム感覚で楽しみながら仲間づくりや健康になれる心技練磨のスポーツであると思われる、鹿児島国体など様々な機会において、スポーツ吹き矢が広く市民に周知・普及促進されることを期待します。

2. 障害者の雇用促進及び就労支援について

- ① 本市の障害者基本計画(第二期)における雇用と就労について、施策成果及び課題を示されたい。
- ② 市内企業及び市役所での法定雇用率の現状と課題を示されたい。
- ③ 職員採用にあたって障害者枠を設ける考えはないか。
- ④ 福祉的就労促進としての所得保障、工賃及び授産製品の活用と物品の買い入れ状況を示されたい。

(当局回答要旨)

- * 雇用・就労の支援においては、「就労への移行支援」「雇用の促進と定着」「福祉的就労の場の整備」の目標を設定し、様々な施策を展開している。
- * 福祉サービスにおいては、生産活動の機会提供、就労訓練など支援していく。
- * 事業所と雇用を結ぶ「就労継続支援A型」は5事業所87人の利用、最低賃金以上を確保している。就労困難な障害者の方が通所する「就労継続支援B型」は22事業所344人の利用、本市の平均工賃は県を上回っている。
- * 就業面及び生活面の総合的な支援のため「おおすみ障害者就業・生活支援センター」を本市に設置し、肝付地区障害者基幹相談支援センターやハローワーク、医療機関、特別支援学校、民間企業と連携し、就労支援していく。
- * 法定雇用義務のある50人以上の企業は82社、うち61社が法定雇用率の2%を達成し、21社が未達成。鹿屋市役所は、法定雇用率2.3%に対し2.47%、H.30年4月からは2.5%、H.33年4月2.6%に引き上げられることから更なる雇用を推進していく。
- * 職員採用の障害者枠については、H.19年度、H.22年度に障害者枠を設けて試験を実施し1名が合格した。H.23年度以降、受験資格に係わる年齢要件を緩和し、延べ6名が受験している。H.29年度では209名が受験、うち2名が障害を持った方であった。
- * 就労施設からの物品購入実績は、H.28年度、19契約4,806,844円
- * 指定管理者制度での障害者雇用に対しての姿勢を評価し、加点する仕組みは検討して参ります。

所感

障害のある子供さんを持つ、ご両親からの切実な悩みとして相談を受け、自ら複数の事業所に相談し、色よい返事がなかったことから質問でした。国においても法律の改正、制定を行うとともに県・本市でも障害のある人が「地域で生き生きと生活できる社会づくり」に施策推進をしていることは認識しているがハンディを持つ障害者には社会全体での、格段の配慮が必要であります。今後も多くの方々と連携を密にして取り組んでいきます。



← 公園管理作業

管入れ作業 →



(社会福祉法人 共生会 トゥモローかのや 提供)

3. 省エネルギー対策について

- ① 本市の公共施設等における照明器具のLED化を図るべきと思うが方向性を示されたい。
- ② 最大需要電力を抑制することにより、節電、省エネ、コスト削減を図るためデマンド監視装置を導入する考えはないか
- ③ 電力負荷平準化を図るため、蓄熱システムを導入する考えはないか。

(当局回答要旨)

- * 行財政改革の観点から経費削減の重要な取り組みであり、本庁舎を含め市内54施設を4グループに分割して入札により新電力と契約している。H.28年度の電気料金の削減額は、約7,700万円。
- * LED化の推進は、電気料の削減を図る有効な手段であることから施設の改築や大規模改修などの機会に嫉視していきたい。
- * デマンド監視装置について、本庁舎は、H.3年の建設時に取りつけている。他の公共施設は当該監視システムの必要性、費用対効果を検証し導入の可否を判断する。
- * 蓄熱システムは、6施設に設置している。消費電力平準化に効果的であるが大規模な設備であることから導入費用、維持管理など多額な費用が必要なことから慎重な判断を要するが新築及び大規模改修時に検討する。

所感

本市は、本庁・学校などを合わせると巨大な電力需要家として、責任ある省エネルギー対策が求められている。

経費縮減も含め、職員の意識改革や監視装置などにより、率先して省エネルギー対策を推進し、その姿勢や成果を発信することにより、市民や事業者へ浸透させる取り組みが必要と思われる。

平成29年度一般会計補正予算(第5号) 主な事務事業・・・事業費 71,267千円

戦略 雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり・・・事業費7,642千円

* 優良繁殖雌牛導入事業 (1,750千円)

第12回全国和牛能力共進会への出品に意欲的な農家に対し、優良繁殖雌牛の導入や肥育技術の実証に係る経費助成

* 和牛のふるさと鹿屋PR事業 (5,892千円)

第11回和牛能力共進会での総合優勝を機に学校給食にステーキ丼ぶりを提供し、生産者との交流並びに「日本一 和牛のふるさと かのや」のPR看板を設置



戦略 安全で快適に暮らせるまちづくり・・・事業費63,625千円

* 農業用施設過年度発生補助災害復旧事業 (49,495千円)

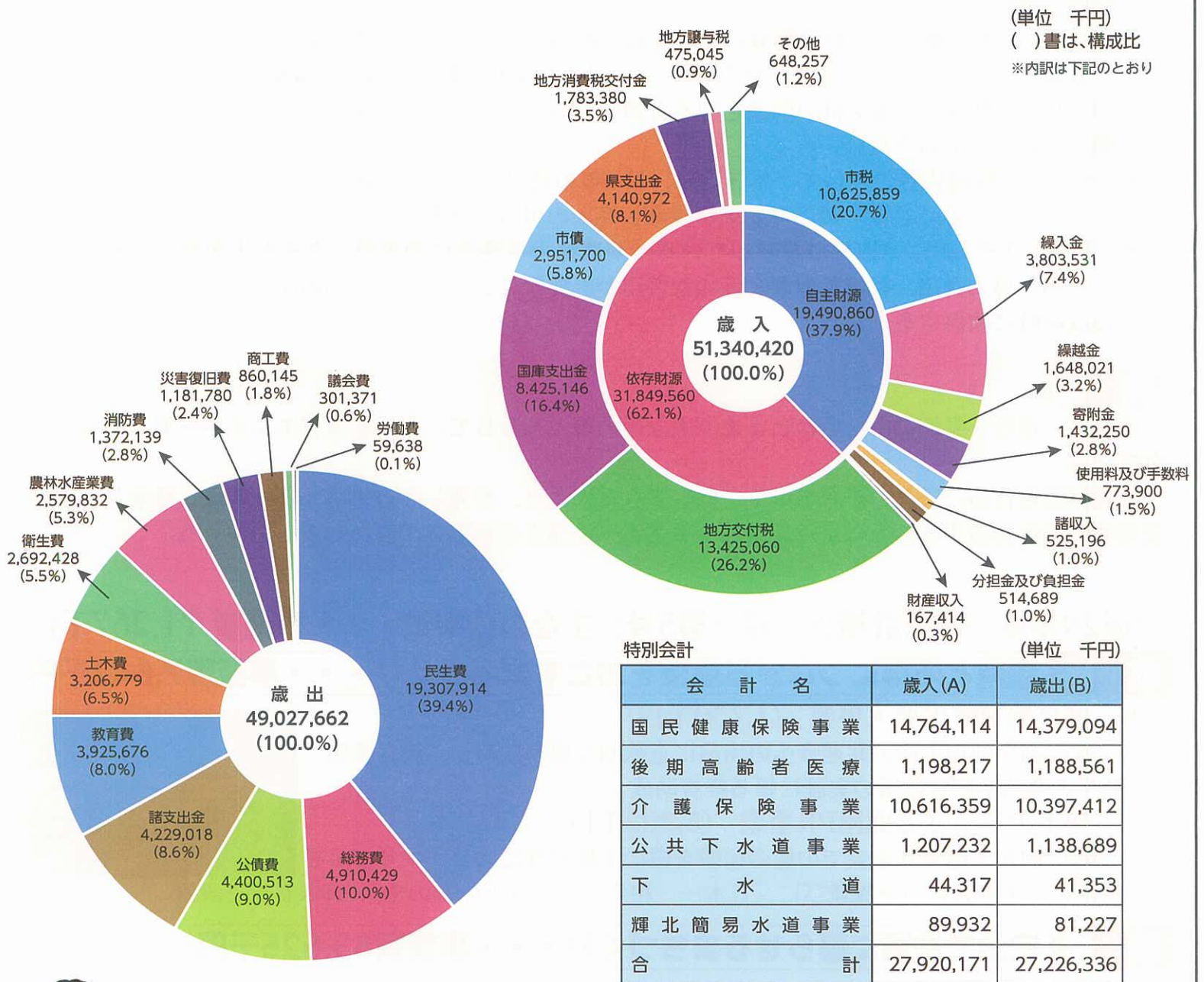
* 道路橋りょう河川現年発生補助災害復旧事業 (14,130千円)

平成28年台風16号による農地災害の復旧工事内容に変更が生じたための増額補正と本年8月の台風5号による市道復旧工事

平成28年度鹿屋市決算報告(一般会計・6特別会計)

決算委員会は、10月23日から27日まで現地調査を含め、①予算執行が議会の議決趣旨、目的に従って合理的、能率的かつ効果的に執行されているか。②財産の管理は適正であったか。③業務の執行体制に問題はなかったか、などを重点に審査がなされ、12月定例議会の初日に報告されました。結果は賛成多数により認定されました。

論議された主な事項は定住促進事業、職員の健康診断、スポーツ合宿、まちづくり推進事業、売れる商品応援事業、いきいき茶産地づくり貸付基金、畜産クラスター事業、空き店舗等を活用した街のにぎわいづくり事業など。また、財政健全化判断比率(実質赤字、連結実質赤字、実質公債費、将来負担比率)は国の定める基準値内で、財政状況は「健全段階」にあると判定されます。



公職選挙法にて、年賀状の挨拶が禁止されていますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。